土屋新聞

発行所
株式会社　土屋
0120-547-278

侵入されやすい住宅

入りやすさと見通しの悪さで危険が増幅

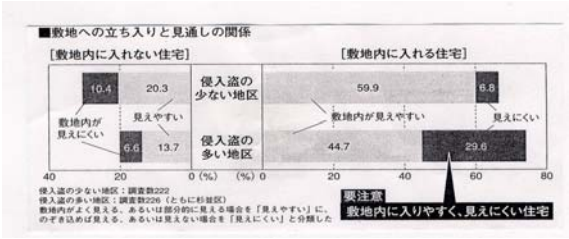
データで見る戸建て住宅の危険箇所

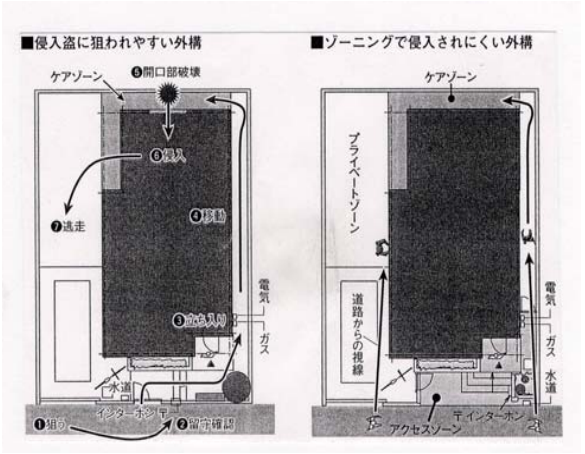
ガスや電気のメーターが門扉の中にあって、部外者が無断で立ち入れる。しかも、いったん入ってしまうと、外からは見られにくい、侵入盗が多発する地区では、このような住宅が多いことが、調査でわかった。敷地内への立ち入りやすさと見通しの悪さが重なると、侵入盗の危険が増大すると言えそうだ。

メーター類の位置などから、部外者が門の中に自由に立ち入れる住宅と、立ち入れない住宅とに分類した。また敷地内が見えやすいかどうかも調査した。

敷地内に入れる住宅の割合は、侵入盗の少ない地区では66・7%だったのに対し、侵入盗の多い地区では、74・3%だった。侵入盗の多い地区の方が「入れる住宅」が多かったものの、大きな差ではない。

注目すべきは、見通しの良しあしによる差だ。「入れる住宅」のうち、敷地内が見えにくい住宅の割合が、侵入盗の少ない地区では68%だったが、侵入盗の多い地区では29・6%と、4倍以上の開きがあった。





誠実な心で結ぶお付合い

営業部長　神田一彦

TCC会員の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の土屋のテーマは「誠実」です。いままでそうではなかったのかといわれるお客様もいらっしゃるかも知れませんが、いまでも誠実でお客様に接して参りましたが、原点（初心）に戻り今一度、社員一人一人が見つめ返す時期に来ていると考えております。

「誠実」とは文字では簡単ですが言葉では奥が深く、一人一人の考え方も違うように難しいものがあります。お客様への訪問・提案・見積りの説明・適切なアドバイス、といったことが的確にお客様へお伝え出来、納得し発注していただいてい者とお客様との打ち合わせが出来ており完成時に納得していただけているのかと、あたり前のことをもっともっとお客様の立場となって考え、ディスカッションを交わしていきたいと思っております。最初から最後まで土屋の誠実がお伝え出来てこそ実るお付合いを社員一丸となって邁進して行きますので宜しくお願い申し上げます。

家のことは何でも
ツチヤ

株式会社土屋

健康コーナー

健康は深く大きい呼吸から

呼吸筋ストレッチ体操

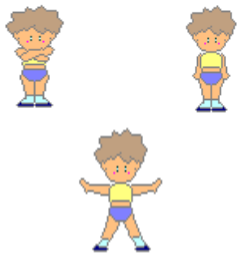
酸素なしでは生きることはできない。脳や体を動かすエネルギーの生産に酸素を取り入れ、心臓を働かせるのに1日ほど無意識のうちに約2万回呼吸を行なっている。

呼吸の際、肺自体は膨らんだり縮んだりするわけではなく、肺を取り囲む筋肉が動くことで、空気が肺に出入りすることで、そのやせた筋肉を深く、大きなスクラッチさせられ呼吸が楽にできるというわけだ。

具体的には、両手で胸を押さえたり、頭の後ろで両腕を上下しながら、ゆっくり呼吸する。腹式呼吸は鼻から吸う。

詳しい呼吸の仕方は環境庁（電話0447・5167）が指導パンフレットなどを配布している。

保全機構



いい呼吸ができれば、からだに酸素が十分供給され、エネルギーの代謝もよくなって、健康で活力ある生活が送れるようになります。

2005年も住まい作りの基本は、耐震性です。

耐震住宅の提案

新潟県中越地震をはじめ被災地の報道がされるたびに防災意識が高まっています。昭和56年以前に建てられた古い木造住宅の耐震診断費用を一部負担し、耐震診断を広める自治体も増えています。新築をお考えのお客様、古い木造住宅にお住まいの方で建替えをお考えの方には、耐震性に考慮したお住まいを提案します。

土屋ホームシステム

『愛住(あいす)』

フリー　ダイヤル　ごようなら　つちや

0120－547－278

一級建築士事務所

株式会社　土屋

お気軽にご相談下さい！